



### 秋の鹿児島！ おはら祭

毎年11月2日・3日に天文館周  
辺で行われるおはら祭は、昭和24  
年から始まる南九州最大の祭りだ。  
鹿児島を代表する民謡「おはら節」  
や「鹿児島ハンヤ節」「渋谷音頭」  
にあわせて練り踊る「総踊り」を中  
心に、様々な催しが行われる。

マグマシティ  
PRキャラクター  
マグニヨン



#### おはら祭 ヒストリー

第1回の開催は、  
昭和24年11月  
15日。市制施行  
60周年を記念して  
市の発展を願い、戦  
後初めての「ちょう  
ちん行列」で幕を開  
けた。



現在、おはら祭といえ  
ば、さまざまな揃いの衣装  
で着飾った、おはら節・ハ  
ンヤ節の「踊り連」だが、  
おはら節の踊りのパレード  
が初めて登場したのは、昭  
和27年のこと。ただし、  
当時の踊りは、現在のよう  
に市民が各々グループをつ  
くって参加する「踊り連」  
方式ではなく、婦人会を中  
心とする踊り手が一団とな  
って市内を踊り歩くという  
ものだった。

昭和36年、徳島の阿波  
踊りを手本として「踊り  
連」方式を採用してから、  
おはら祭は飛躍的に発展し  
た。「踊り連」方式によっ  
て、町内会や職場グルー  
プからの参加が急増したの  
だ。祭の性格も、当初の商  
工振興から市民レクリエー  
ションへと様変わりした。

**花形！ ヤング踊り連**  
おはら祭の代表的な踊り  
連のひとつに、「ヤング踊  
り連」がある。参加者は、  
「市民のひろば」やウェブ  
サイトで広く募集してお  
り、加えて、中学校、高  
校、短大、大学といった学  
校単位で募集をしている。



原則、中学生から30歳ま  
でが対象とのこと。

もともと、鹿児島女子短  
期大学の学生さんが踊り連  
を結成しておはら祭に参加  
しており、第49回おはら  
祭(平成12年)で、お祭  
りのPR用の踊り連を編成  
することになった際、この  
鹿女短の踊り連を基に、鹿  
女短生以外も参加可能な  
「ヤング踊り連」が創設さ  
れた。こうした経緯があ  
り、現在でも鹿児島女子短  
期大学の学生さんが多く参  
加しているが、もちろん、  
鹿女短生以外も参加可能！  
コロナの影響で参加者が減  
少している時期もあったそ  
うだが、参加人数も回復傾  
向にあり、令和5年は36  
名が参加予定とのこと。

#### 「PCDタイムズ」とは…



鹿児島市「かごしまラバースプロ  
ジェクト事業」内のワークショップ  
「PLAY CITY! DAYS」(以下PCD)  
の2023年度プロジェクトチーム  
のうち、「PCD新聞社チ  
ーム」が、PCDの活動を通して鹿児島  
市の魅力を発掘・発信するために作  
成しました！ 今後、令和6年3月  
までに残り2回発行予定です！

鹿児島市の代表的民謡  
「おはら節」

江戸時代の初めに、日向  
国・安久(現・宮崎県都城  
市)の武士が陣中で唄った  
唄を、鹿児島島の原良(はら  
ら)の武士が歌詞を作って  
歌い始め、それが鹿児島一  
円に広がるにつれ、原良に  
「小」が付いて「小原良  
(オハラ)節」と呼ばれる  
ようになった。昭和8年頃  
レコードが出て、南国らし  
い明るい唄詞が全国的に流  
行した。

### 直撃!! おはら祭の裏側



今回インタビューした人  
鹿児島市役所観光振興課  
主任 松田さん



南九州最大のお祭り「おはら祭」。この運営  
を担当しているのは、鹿児島市役所観光振興課  
である。

歴史と伝統ある「おはら祭」の裏側を探るべ  
く、今回は、おはら祭担当の松田一馬さんにお  
話を伺った。

おはら祭を運営する上でのやりがいは何  
ですか？

おはら祭を心待ちにしている方の声を聞く  
とき、当日楽しむ皆さんの姿を見たとき  
は、大きなやりがいを感じます！多くの  
関係者がいて成り立っているお祭りなの  
で、あいさつ回りなど関係者への配慮は大  
切にしています。  
実は、本番の3ヶ月ほど前から、関東圏を  
はじめとする県外の方からのお問い合わせ  
せも多数あるんです！それだけ、おはら祭  
が広く長く親しまれているのだと実感する  
瞬間ですね。コロナ禍の影響で、今は参  
加団体が集まりにくく、苦労することあり  
ますが、皆さんの生き生きとした様子が  
わたしたちの原動力になっています

観光振興課の主な業務内容は何ですか？

「おはら祭」と「かごしま錦江湾サマー  
ナイト大花火大会」を二大イベントとして掲  
げ、各種イベントを企画・運営していま  
す。その他、「平川動物公園」や「かご  
しま水族館」など、市有施設の維持管理も  
行っています。施設からの報告を受け、  
必要なところを修繕したり、キャッシュ  
レス決済分の精算に関わったりと、業務は  
幅広いです。8月に花火大会、11月におは  
ら祭と、並行して準備を行うため、5月～  
11月はかなり忙しいですね(笑)

松田さんにとって「おはら祭」とは？

ん～、難しい(笑)  
「鹿児島っていいな、と感じられるもの」  
ですかね。地域おこしとして始まったも  
のが、今や大きな観光イベントになりまし  
た。毎年、たくさんの人のおかげで開催  
できており、おはら祭の重みを感じます。  
わたし自身、おはら祭で踊った経験もある  
ので、踊り手と裏方、双方の視点を大切  
にしたいと思います。今年は、デイズ  
40周年を記念してのパレードもありま  
す！皆さまに「おはら祭」を楽しんでい  
ただけたら嬉しいです



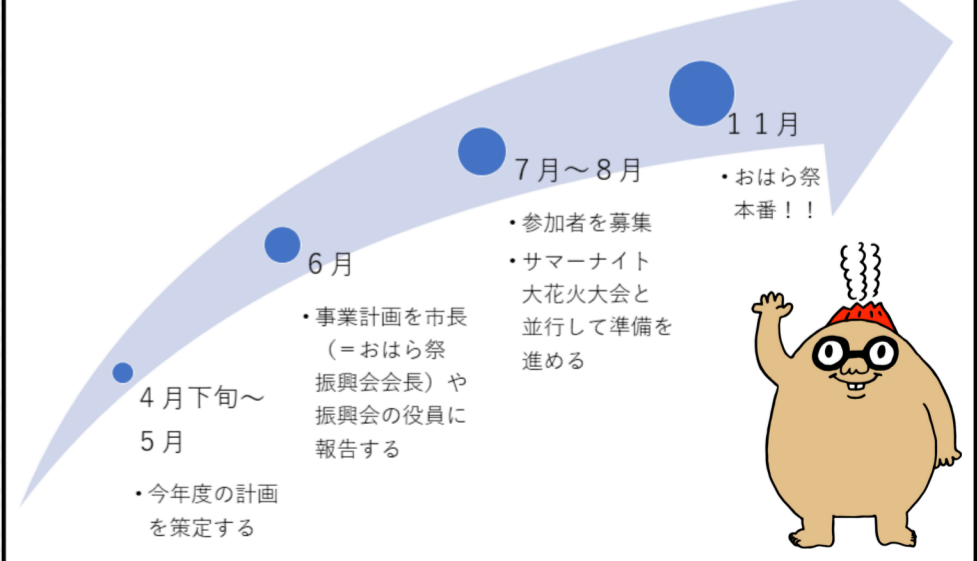
「責任が大きい分、やりがいを感じますね」と松田さん。はにかむ笑顔が印象的だった。  
人々の嬉々とした声や表情を原動力に、縁の下の力持ちとして尽力する運営の皆さん。  
多くの人の思いが重なり、おはら祭は72年間受け継がれている。見えない努力にも思いを馳  
せながら、伝統的なおはら祭をつなぎ、皆で楽しんでいきたいものだ。

我々PLAY CITY! DAYSでも、  
踊り連を結成して参加しています！！  
※写真は2022年撮影のものです



#かごしまラバース踊り連  
#PLAY CITY! DAYS

おはら祭の準備は4月には始まります！！





# このほどとまれ!

(サウナラバーズの活動拠点はもちろんサウナ。第1回の作戦会議は薬師温泉(鹿児島市薬師)に2階にあるコミュニティスペースで実施された。)

PLAY CITY! DAYS 2023  
5つのプロジェクトチーム紹介!

## 鹿児島島の魅力、発信中!



1. 桜島を熱く奔走!  
「火の島暮らし探検隊」

おっしーこと、押川隊長率いる「火の島暮らし探検隊」は20代から40代の男女8名で構成されている。押川さんは隊員にクイズを投げかけるなど軽妙洒脱なノリで、桜島を案内し、ディープな魅力を紹介している。メンバーは「さつき間違ったのはもちろんワザとですよ」と惚けてみせるなど、賑やかで溶け込みやすい雰囲気だ。



探検隊を率いる押川隊長

マグマの熱さを  
感じ取れ!

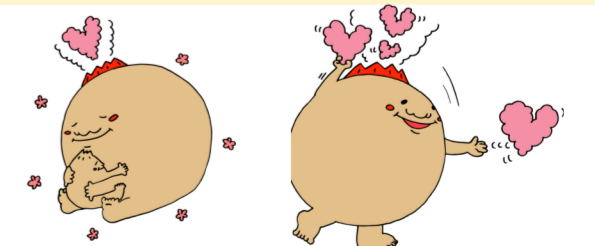
9月のある日、探検隊が向かったのは東桜島の小さな漁港。海中で温泉が湧き出している珍しい場所だ。漁港の海中に手を入れると暖かさが感じられ、小さな泡がポコッと浮いてくる様子から、海の中に温泉が湧き出していることを確認できた。

探検隊に同行し、毎日目にする桜島について何も知らなかったことを痛感した。「火の島暮らし探検隊」は、どっぷりと桜島に浸り、じっくり味わい尽くせるチームだ。



## PLAY CITY! DAYS 2023 とは?

楽しむことを大切に、仲間たちと鹿児島市の魅力や課題と向き合う参加型ワークショップ。今年度は40名が5つのプロジェクトチームで活動しています。合言葉はこの指、とまれ!



2. タイムズに発見した魅力を凝縮せよ

PCD新聞社チームには、10代から40代の8名の記者がいる。それぞれの興味や特技を生かし、「PCDタイムズ」の発行に奮闘している。10月上旬の第2回編集会議では、各班の取材状況を確認しつつ、紙面のレイアウト検討を開始。第1号の発行に向けて、各記者の議論の声にも力が入る。「見出しは縦?横?」「大きい写真がインパクトあるかも」「一面どうする」と議論は尽きない。ワイワイガヤガヤと学祭ノリで賑やかに進化した。



編集会議後に、パブリックビューイングでラグビー観戦をした新聞社チーム



3. 「サウナイキタイ」鹿児島人

集結

近年、全国に押し寄せているサウナブームの波。その勢いは源泉数全国2位の温泉大国である鹿児島でも同様で、今年だけでもプライベートサウナ等、様々なコンセプトのサウナが続々とオープンしている。そんな中、ここ鹿児島へサウナのように「アツい」チームが誕生した。その名も「あつまれ!かごしまサウナラバーズ」。メンバーは男女9名。鹿児島市の魅力をサウナを通して伝える、という目的で集まったメンバーだ。そんな、サウナラバーズたちが準備を進めているのが「託児銭湯」。

銭湯・サウナがいくらか好きでも、子どもが生まれてしまうとなかなかゆつくり通うことができない、そんな人たちが救うため、銭湯へ保育士に常駐してもらい無償で子どもを預けられるという取り組みを11月に企画している。

サウナファンを誰一人取り残したくない、そんな彼らの「アツさ」を感じる企画だ。その他にも色々な企画を検討中とのこと。今後の活動にも注目したい。

4. 個性マシマシ伸びしろマシマシで駆け抜けろ市電道!

市電チームは男女8名で活動している。また、年齢層や職業のような背景、PCDへの参加動機も様々で本当の多様性のあるチームだ。市電チームとしては交通局の見学や市電旅を通してマップ作成と、市電を貸し切ったイベントを企画する予定だ。マップ作成や市電内イベントでは他のPCDのチームとのコラボレーションやそれぞれの持っている個性を生かして市電を盛り上げてほしい。取材班としてはアクセスを踏み出し始めた市電チームが、各駅停車で自分たちのペースで走って行く姿を撮り鉄のような姿で眺めていきたい。



5. 若さはつらつ意気揚々! 川を愛し川に愛されたチームへ

「川を愛し川に愛されている」これはチームを語る上で大きなキーワードかもしれない。甲突川チームは男女8名で活動している。年齢層、職種だけでなく好みなども多種多様だ。だからこそ、それぞれのアプローチで甲突川を愛し、それによって甲突川は盛り上がる。つまり川を愛することで川に愛される、川と両思いになれるのだ。本当に川を愛するため河下りやリバーサイドフェスティバルに参加して、甲突川について詳しくなろうと奮闘している。取材班としては、これからの甲突川チームの川との愛情を深めていき方や、企画される甲突川のイベントや情報発信に対して期待していきたい。

